

R5 開始

かいようちょう

海陽町（徳島県）

～主な品目～

水稻・野菜（にんじん 等）

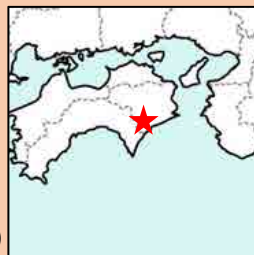
実施体制

海陽町、農業者、有限会社ショッピング、ペンションししくい

面積情報

有機農業取組面積：0 ha 耕地面積に占める割合：0 %

（令和3年度末時点）



1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大（露地野菜）	R4年度	0.44ha	→	R10年度	0.94 ha
有機農産物の販売数量の拡大	R4年度	5 t	→	R10年度	5.55 t
有機農業に取り組む農業者数の増加	R4年度	3人	→	R10年度	8人

2 有機農業を拡大していく上での課題

有機農産物の栽培技術の習得
栽培した有機農産物の販売先の確保
有機栽培に取り組む農家の確保

拡大をはばむ雑草の紹介

コナギ

【対策】田植え前に代掻きを数回行い水田から排出。その後、深水管理で抑制させる。



▲コナギ

3 課題に対する取組のポイント・成果

技術講習会を行い、有機野菜に対する栽培の知識を取得することにより、新規野菜の栽培（たまねぎ）に取り組むことができた。

【取組による定量的な成果】

有機面積拡大 R4：0.44ha → R5：0.58ha
（たまねぎ栽培面積 R4：0 ha → R5：0.14ha）

ポイントとなる技術

小祝政明氏が提唱する「BLOF理論」による栽培技術の取得。
小祝氏の技術講習会、現地講習の実施。



▲現地講習

4 主な取組内容

①生産

- ・地元企業の鶏糞の活用や防草シートを用いたにんじんの栽培実証
- ・土づくりなどの技術講習会の開催（水稻、露地野菜）

②加工・流通

- ・にんじんを用いた加工食品の開発

③消費

- ・学校給食への有機米、にんじん、ナスの導入
- ・協議会の取組や有機農産物のPRのためのホームページ開設
- ・有機マルシェへの出店



▲栽培講習会



▲有機マルシェ